

株主の皆さまへ **第7期 株主通信** (中間期) 2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日

| Contents

- 1 ご挨拶
- 2 安心・安全・健康の
テーマパークを目指して
- 3 グループ経営目標 (見直し後)
- 4 株主還元
- 5 国内損保事業
- 6 国内生保事業
- 7 介護・ヘルスケア事業
- 8 海外保険事業／戦略事業
- 9 連結財務ハイライト
- 10 グループトピックス
- 11 CSRの取組み
- 12 ダイバーシティの取組み
- 13 会社概要／株式の状況／役員
- 14 株式事務に関するご案内



損保ジャパン日本興亜ホールディングスは、 SOMPOホールディングスへ。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社は、2016年10月1日付で、社名を「SOMPOホールディングス株式会社（英文表記：Sompo Holdings, Inc.）」に変更しました。

グループ社員一丸となって、グループ・グローバルベースで「安心・安全・健康」の「SOMPO」ブランドをより一層強化していきます。

今後とも、なお一層のご愛顧・お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

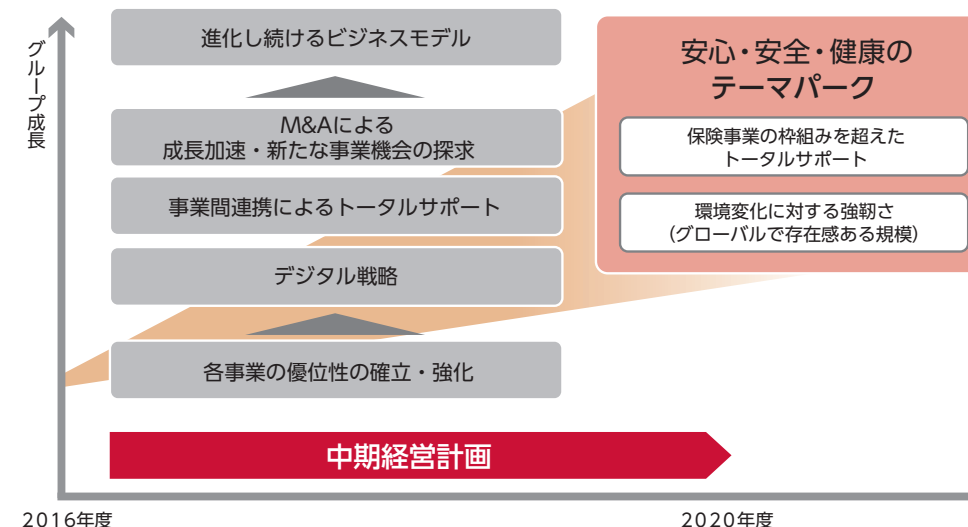
SOMPOホールディングス株式会社
グループCEO
代表取締役社長 櫻田 謙悟



安心・安全・健康のテーマパークを目指して

当グループは、2016年5月に公表した中期経営計画（2016～2020年度）において、経営理念の具現化に向けたグループの目指す姿として、「安心・安全・健康のテーマパーク」の構築を掲げ、各事業の魅力を徹底的に高め、並行してデジタル技術を活用したサービス拡充やお客さまとの接点強化、事業間連携などに取り組んでいます。

また、高品質なサービスをより早くご提供するため、有力プレイヤーとの提携や、M&Aによる成長加速・新たな事業機会の探求を積極的に進めています。



中期経営計画の具体的な取組みとして、保険会社Endurance Specialty Holdings Ltd. (以下「エンデュランス社」)の買収手続きの開始について合意しました。グローバルに分散が効いた事業ポートフォリオおよび真に統合されたグローバル保険事業プラットフォームの構築を、より一層進展させていきます。(本件買収手続きの開始合意については8ページ「海外保険事業」もご参照ください。)

引き続き、将来の目指す姿「安心・安全・健康のテーマパーク」の構築・進化に向けて、取組みを進めていきます。

グループ経営目標 (見直し後)

当グループは、エンデュランス社の買収手続き開始の合意および消費税の増税延期などの環境変化をふまえ、中期経営計画で設定した2018年度のグループ経営数値目標を以下のとおり上方修正します。

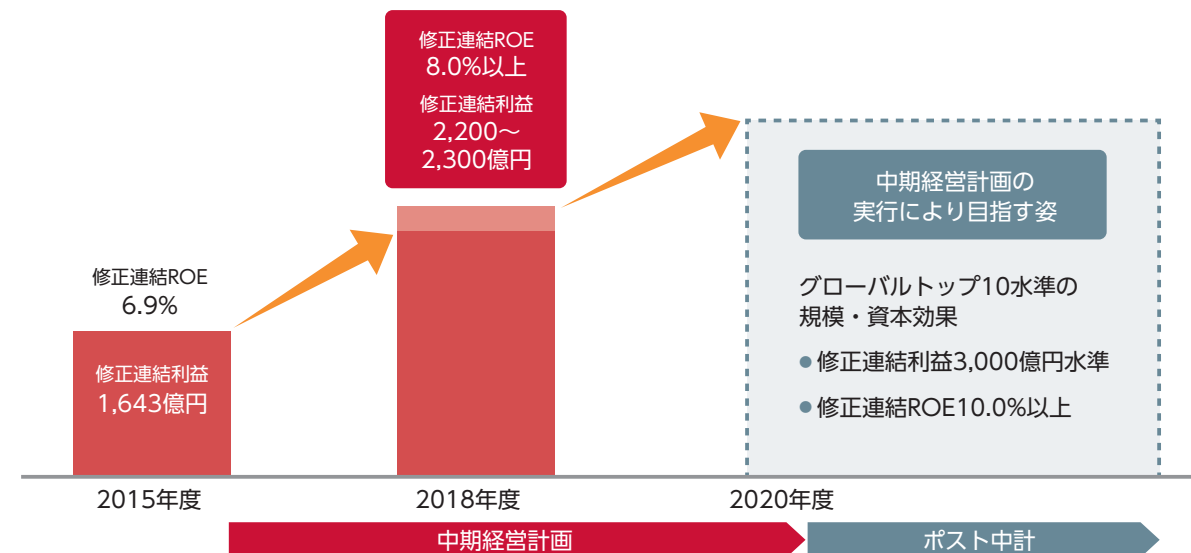
引き続き、中期経営計画の達成に向けて取り組んでいきます。

(指標)	2018年度目標 (2016年5月公表)	2018年度目標 (見直し後)
修正連結利益	1,800~2,200億円	2,200~2,300億円
修正連結ROE	8.0%以上	8.0%以上

		2015年度 実績	2018年度 経営数値目標	目指す姿 (2020年度以降)
修正連結利益		1,643億円	2,200~2,300億円	グローバルトップ10水準へ (3,000億円水準)
修正連結ROE		6.9%	8.0%以上	10.0%以上
国内損害保険事業	修正利益	1,119億円	1,200億円以上	
国内生命保険事業	修正利益	304億円	320億円以上	
介護・ヘルスケア事業等	当期純利益	15億円	80億円以上	
海外保険事業	当期純利益	204億円	600億円以上	

修正連結利益等の計算方法については、当社ホームページをご参照ください。

http://www.sompo-hd.com/~media/hd/files/company/strategy/strategy_01.pdf



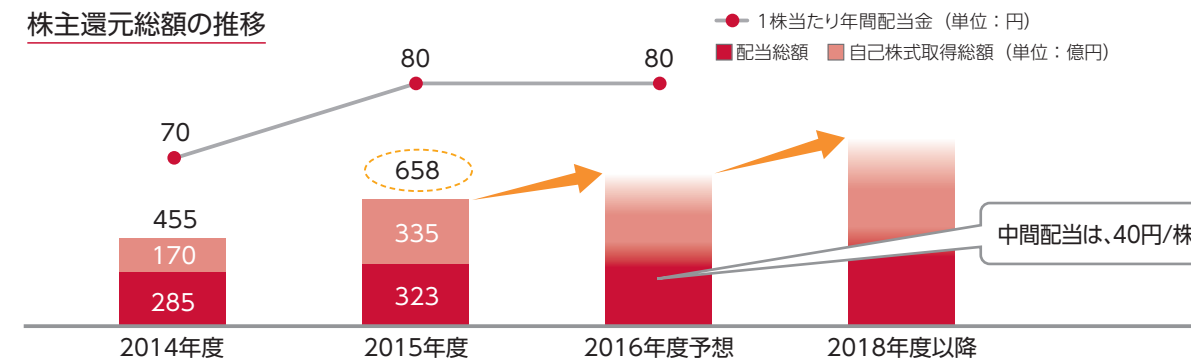
株主還元

2016年度の中間配当金は、前年度と同額の1株当たり40円としました。2016年度の年間配当金は80円(期末配当金40円)を見込みます。また、資本の状況や利益水準をふまえて機動的に自己株式取得を実施する方針です。

なお、中期的に総還元性向*50%を目指す方針に変更はありません。

※ 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得総額) / 修正連結利益

株主還元総額の推移



国内損保事業

グループの中核事業であり、代理店販売が主体の損保ジャパン日本興亜、ダイレクト販売のセゾン自動車火災、媒介代理店を通じた通信販売のそんぽ24が、多様化するお客さまニーズに対応しています。また、損保ジャパン日本興亜DC証券が確定拠出年金事業を展開しています。

徹底したお客さま視点とデジタル技術を駆使した情報の収集により、お客さまや産業構造の変化の先を捉えた新たな商品・サービスやビジネスモデルの創造につなげていきます。

安全運転ナビゲートアプリ「ポータブルスマイリングロード」の提供

損保ジャパン日本興亜

- 万一の事故の際も「安心」な事故対応サービス
- 保険会社の事故防止ノウハウを活用した「安全」な運転支援サービス
- 高機能カーナビで「快適」なゆとりある運転をサポート



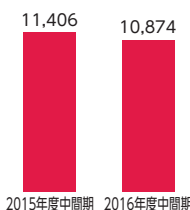
業界初 外国人旅行者向け「訪日旅行保険」の開発

損保ジャパン日本興亜

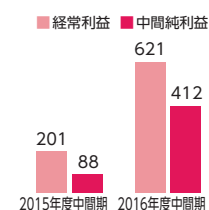
- 外国人が入国後に加入可能
- スマートフォンなどから加入するインターネット専用商品
- 英語・中国語・韓国語に対応



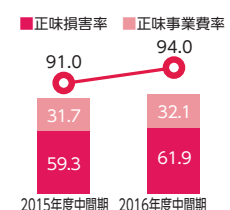
正味収入保険料 (単位: 億円)



経常利益・中間純利益 (単位: 億円)



コンパインド・レシオ (単位: %)



ソルベンシー・マージン比率 (単位: %)



※損保ジャパン日本興亜の単体決算数値です。

国内生保事業

グループ事業の中で高い成長性を有している分野です。国内損保事業に続く第二の柱として、「健康を軸にした新たなサービス」と「そのサービスが一体となった商品」を、「新たな価値を提供する募集人」がお客さま一人ひとりのニーズに応じて提供していきます。

健康サービスブランドの立ち上げ

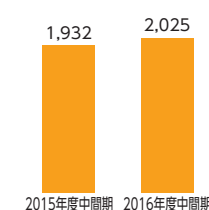
お客さまが健康になることを応援する「健康応援企業」への変革を目指し、新たな価値を提供するフロントランナーとして、健康サービスブランド「Linkx (リンククロス)」を立ち上げました。「Linkx (リンククロス)」では、革新的な新商品の提供と、アプリを中心とした健康関連サービスを展開しています。



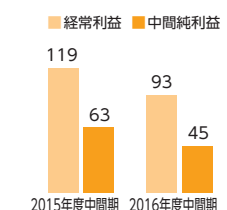
月々500円で加入できる臓器移植・先進医療特化型保険を発売

無料で誰でもダウンロード可能な健康キュレーションアプリの提供を開始

保険料等収入 (単位: 億円)



経常利益・中間純利益 (単位: 億円)



ソルベンシー・マージン比率 (単位: %)



※損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の単体決算数値です。

介護・ヘルスケア事業

2015年に当グループは介護事業に本格参入しました。最高品質の介護サービスの提供を通じて、「安心・安全・健康」のブランドを早期に構築し、日本で最も信頼される介護事業者を目指します。

ヘルスケア事業においては、SOMPOリスクアマネジメントを通じ、健康経営推進、メンタルヘルス対策、生活習慣病対策などを支援するサービスを提供しています。

グループの介護事業

子会社

SOMPOケア (マネジメント会社)
介護事業を営むグループ会社の経営管理・経営指導を実施。

SOMPOケア メッセージ
低・中価格帯を中心に有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護等の在宅サービスを全国で展開。

SOMPOケア ネクスト
中価格帯を中心に有料老人ホームを大都市圏において展開。

関連会社

シダー*
低価格帯を中心に有料老人ホーム、通所介護事業所を展開。リハビリに重点。

* 2012年9月に株式の34%を取得

SOMPOリスクアマネジメントの主なサービス

- 健康経営推進支援サービス
- BCP策定・見直し・訓練
- ストレスチェックと集団分析
- 自動車事故防止



海外保険事業

当グループは世界32か国・地域、211都市*において海外保険事業を展開し、安定的に収益を拡大しています。先進国市場においては、SOMPOキャンピアスを通じてロイズマーケットで成長を図るなど企業分野を中心とする一方、新興国市場においては、アジア、中東、南米などでリテール分野を中心に事業を拡大しています。

* 2016年3月31日現在

スペシャルティ保険グループ・エンデュランス社の買収

当社は、米国を中心とした事業基盤を持つEndurance Specialty Holdings Ltd.(以下「エンデュランス社」)を買収する手続きを開始することについて、2016年10月にエンデュランス社と合意しました。今後、速やかに手続きを進め、2016年度中に本件買収手続きを完了する見込みです。

エンデュランス社の概要

- 米国を中心に英国・バミューダなどで元受事業・再保険事業を展開する保険グループです。
- 農業保険をはじめ、賠償責任保険や財物保険、スペシャルティ保険などの保険種目を幅広く取り扱い、バランスの良い引受ポートフォリオを実現しています。
- 高い収益性・成長性・健全性を有しており、当グループへの高い貢献が見込まれます。




櫻田グループCEO (左)、エンデュランス社 シヤーマンCEO (右)

戦略事業

お客様の資産形成に関するサービスを提供するアセットマネジメント事業、ロードアシスタンスサービスなどを提供するアシスタンス事業のほか、住宅リフォーム事業や延長保証事業を展開しており、国内損保事業をはじめとする各事業との間で、実業に立脚した連携を行っています。

 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

 SOMPOケアメッセージ  SOMPOケアネクスト  SOMPOリスクアマネジメント

 プライムアシスタンス  FRESH HOUSE  PWJ Product Warranty Japan ※ 2016年12月25日付で、株式会社プロダクト・ワランティ・ジャパンは「SOMPOワランティ株式会社」に社名変更する予定です。

SOMPOホールディングス

	2015年度中間期	2016年度中間期
経常収益	16,757	16,548
保険引受収益	15,616	15,194
正味収入保険料	13,305	12,795
生命保険料	1,436	1,523
資産運用収益	1,025	692
その他経常収益	115	661
経常費用	16,322	15,847
保険引受費用	13,735	12,688
正味支払保険金	7,100	6,913
資産運用費用	135	115
営業費及び一般管理費	2,392	2,480
その他経常費用	58	562
経常利益	435	700
親会社株主に帰属する中間純利益	285	434
総資産	101,849	102,990
純資産	16,519	15,352

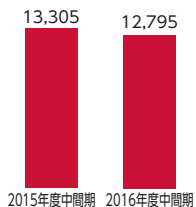
正味収入保険料・生命保険料

正味収入保険料は、前中間期に比べて509億円減少(△3.8%)して1兆2,795億円となりました。
また、生命保険料は、前中間期に比べて86億円増加(+6.0%)して1,523億円となりました。

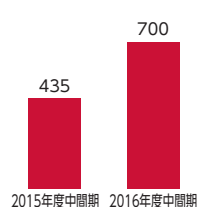
経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益

経常利益は、前中間期に比べて265億円増益して700億円となりました。
親会社株主に帰属する中間純利益は、損保ジャパン日本興亜において保険引受利益が増益したことを主因として、前中間期に比べて148億円増益して434億円となりました。

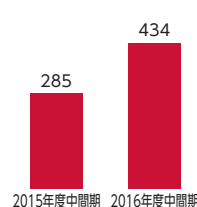
正味収入保険料 (単位: 億円)



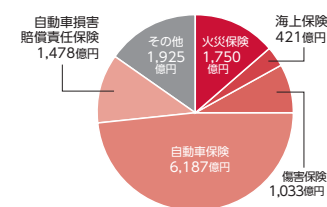
経常利益 (単位: 億円)



親会社株主に帰属する中間純利益 (単位: 億円)



正味収入保険料の種目別内訳 (2016年度中間期)



第6回定時株主総会のご報告

2016年6月27日、当社第6回定時株主総会を東京都新宿区の損保ジャパン日本興亜本店で開催して、600名を超える株主の皆さまにご来場いただきました。

当日は櫻田グループCEOから報告事項の報告を行った後、社外取締役の野原佐和子氏から当社の取締役会、指名・報酬委員会の機能発揮がガバナンスの透明性・客観性の確保につながっている旨の所感が披露されました。また、決議事項として「剰余金の処分の件」「定款一部変更の件」「取締役13名選任の件」「監査役1名選任の件」「株式報酬制度に関する額および内容決定の件」が承認可決されました。



JPX日経インデックス400の構成銘柄に選定

当社は、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に、2015年度に引き続き選定されました。

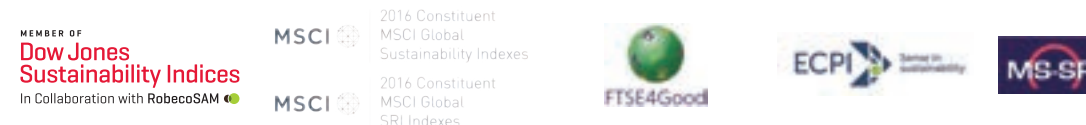


DJSIの構成銘柄に選定

当社は、「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI)」の「World」および「Asia Pacific」の構成銘柄に選定されました。当グループは日系企業で唯一「World」に17年連続で選定されており、日系企業最長記録を更新しました。

SRIインデックス (社会的責任投資指数) への組入れ

当社は、世界の主要なSRIインデックスの組入銘柄となっています (2016年7月1日現在)。



当グループは、社会的課題の解決に貢献するとともに、グループの成長にも資する取組みとなるよう、CSRを推進しています。

- CSRの取組みの詳細はこちらからご覧いただけます。⇒ <http://www.sompo-hd.com/csr/>

インドネシアでの交通安全プロジェクト

当グループは、日本における交通事故の予防・削減のノウハウを活かし、インドネシアのバンドンにおいて、交通安全プロジェクトを展開しています。

このプロジェクトでは、4年間で30校の教師や小・中学生を対象とした交通安全教育の実施、学校周辺の交通インフラの改善および地域や政府に対する働きかけを行っており、2014年の開始から2年間で20,000人以上の方に参加いただきました。



© Save the Children Indonesia

SOMPO パラリンアート・サッカーアートコンテスト

損保ジャパン日本興亜は、トップスポンサーとして、一般社団法人障がい者自立推進機構が主催する「SOMPO パラリンアート・サッカーアートコンテスト」を支援しています。

このイベントは、パラリンアート（障がい者が作成する美術作品）が国内外に広く周知されることを目的としており、第1回目となる2016年度は、サッカーをテーマとした作品を公募し、全1,862作品のうち、71作品、64名の方が入賞しました。



SOMPO アート・ファンド

損保ジャパン日本興亜は、全国の芸術・文化活動を支援するファンド「SOMPO アート・ファンド」を新たに立ち上げました。全国各地の活動から地域の魅力を顕在化させ、その独自性を発揮していくようなアートプロジェクトや、被災地の復興支援に向けて取り組む活動など、18件への助成を実施しました。



ダイバーシティを当グループの成長に欠かせない重要な経営戦略として位置づけ、グループ横断で女性活躍の推進やグローバルベースでの人材活用に注力しています。



Diversity推進のスローガン

Diversity for Growth

ダイバーシティを力に変え、お客さまに最高品質のサービスをご提供することが、グループ全体の成長に結びつくという意を込めています。

女性管理職比率目標の達成

当グループの女性管理職比率は、2016年4月時点で13.2%となり、2015年度末目標の10%を上回り達成しました。今後も2020年度末30%の達成に向け、取組みを加速していきます。



女性経営塾の様子

LGBT社員の働く環境を整備

当社は、性的マイノリティであるLGBTへの配慮等にこれまで以上に取り組んでいくため、「グループ人間尊重ポリシー」を改定し、性的指向、性自認、性表現などによる差別を行わない旨を明記しました。また、損保ジャパン日本興亜では、LGBTの社員について、2016年7月から、同性パートナーを配偶者とみなして利用可能とする人事制度・福利厚生制度の見直しを実施しました。今後も、アライ（支援者・理解者）を増やす取組みなどを展開していく予定です。

ワークスタイルイノベーションの加速

損保ジャパン日本興亜では、社員一人ひとりが、働き方・時間の使い方を根本から変える「ワークスタイルイノベーション（働き方の変革）」にチャレンジしています。テレワークやシフトワークを積極的に活用し、「時間あたりの生産性」の更なる向上を目指しています。全社員*がテレワークを活用できる体制にするとともに、育児・介護短時間勤務者のテレワークを後押しする取組みとして、突発的な在宅勤務などにも対応できるよう、希望者に対し社端末を追加配備しています。 ※時給制の短時間勤務者等は除く。



ワークスタイルイノベーションを討議する職場の様子

会社概要／株式の状況／役員

● 会社概要 (2016年10月1日現在)

会社名 …… SOMPOホールディングス株式会社
(英文表記:Sompo Holdings, Inc.)

本店所在地… 東京都新宿区西新宿一丁目26番1号

設立日 …… 2010年4月1日

資本金 …… 1,000億円

従業員数 …… 45,972名 (連結) ※2016年9月30日現在

事業内容 …… 損害保険会社、生命保険会社その他の保険業法の規定により子会社等とした会社の経営管理およびこれに附帯する業務

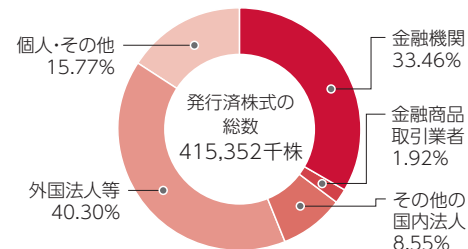
● 株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 …… 1,200,000,000 株

発行済株式の総数 …… 415,352,294 株

株主数 …… 48,155名

所有者別株式分布状況



● 役員 (2016年11月2日現在)

グループCEO 代表取締役社長 社長執行役員	櫻田 謙悟	取締役(社外取締役)	野原 佐和子	常務執行役員	小嶋 信弘
代表取締役 副社長執行役員	辻 伸治	取締役(社外取締役)	遠藤 功	常務執行役員	田村 康弘
代表取締役 専務執行役員	江原 茂	取締役(社外取締役)	村田 珠美	常務執行役員	浦川 伸一
取締役 常務執行役員	伊東 正仁	取締役(社外取締役)	スコット・トレバー・デイヴィス	常務執行役員	ナイジェル・フラッド
取締役 常務執行役員	藤倉 雅人	常勤監査役	高田 俊之	執行役員	笠井 聡
取締役 常務執行役員	吉川 浩一	常勤監査役	埜 昌樹	執行役員	花田 秀則
取締役 常務執行役員	奥村 幹夫	監査役(社外監査役)	椿 慎美	執行役員	水口 敦志
取締役	西澤 敬二	監査役(社外監査役)	笠間 治雄	執行役員	青木 潔
取締役	高橋 薫	監査役(社外監査役)	柳田 直樹	執行役員	浜田 昌宏
		常務執行役員	田中 順一	執行役員	檜崎 浩一

株式事務に関するご案内

● 中間配当に関するお知らせ

第7期中間配当金 …… 1株につき40円

支払開始日 …… 2016年12月6日(火)

● 株式に関する各種手続き

- 受取りがお済みでない配当金のお受け取り、支払明細等の発行については、株主名簿管理人にお問い合わせください。なお、配当金のお支払期間は支払開始から3年間となっておりますので、お早めにご請求ください。
- 住所変更、配当金受領方法の指定および単元未満株式の買取・買増などの各種手続きについては、証券会社等に口座をお持ちの株主さまはお取引のある証券会社等にお問い合わせください。なお、証券会社等に口座がなく、特別口座で管理されている株主さまは、「単元未満株式の買取・買増」を除いて売買ができません。お早めに証券会社に株主さまご本人名義の口座を開設していただき、当該口座へ振替手続きを実施していただきますようお願いいたします。詳細につきましては、下記「特別口座の口座管理機関」までお問い合わせください。

	[旧 損保ジャパンの株主さま]	[旧 日本興亜損保の株主さま]
特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-288-324 (通話料無料)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711 (通話料無料)

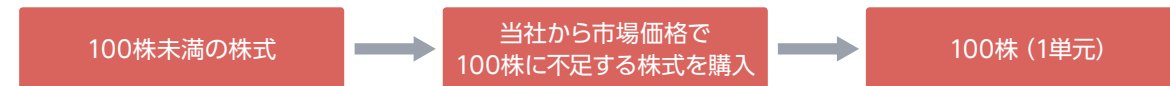
● 100株(1単元)に満たない株式をご所有の株主さまへ

100株(1単元)に満たない株式をご所有の場合、買取制度または買増制度をご利用いただくことができます。

● 単元未満株式の買取制度



● 単元未満株式の買増制度



※市場での売買が可能となります。

● 株主メモ

- 事業年度 …… 毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当および議決権の基準日 …… 3月31日（中間配当の基準日は9月30日）
単元株式数 …… 100株
公告の方法 …… 電子公告により行います。（<http://www.sompo-hd.com/>）
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
- 上場証券取引所 …… 東京証券取引所（市場第一部）
株主名簿管理人 …… 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先および
各種お問い合わせ先 …… 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-288-324（通話料無料）

● 銘柄略称について

社名変更に伴い、新聞等での当社銘柄略称は「SOMPO」、「SOMPOHD」等に変更されております。

● ホームページのご案内



ホームページを通じて、個人投資家の皆さまに当社を
よりご理解いただくための情報をお届けしています。

<http://www.sompo-hd.com/>

SOMPOホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿一丁目26番1号
TEL. 03-3349-3000（代表）



この株主通信は環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。